切除不能食道扁平上皮癌に対する Pembrolizumab 併用 1 次化学療法・19 例の短期評価

1. 研究の対象

2021 年 11 月～2023 年 12 月までに、当院で食道扁平上皮癌に対し Pembrolizumab 併用の 1 次化学療法を開始した方

2. 研究目的・方法

2021 年 11 月より FP+Pembrolizumab(FP+Pem)が切除不能食道扁平上皮癌の 1 次治療ひとつとなっている。食道扁平上皮癌の実臨床では、プラチナの省略や照射併用の併用などのアレンジが汎用されるが、このような臨床実地の中での Pembrolizumab 併用化学療法の現状は明らかではない。実臨床へのフィードバックを目的として、当院経験の review を学会報告する。

3. 研究期間

研究許可日から学会発表まで (ISDE:国際食道疾患学会 (2024/9/22-24) 予定)

4. 研究に用いる試料・情報の種類

生体試料は扱わない

診療録より収集可能な情報：年齢、性別、治療開始日、治療内容・経過、有害事象の発生状況などを検討する。

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

電子カルテより、上記 4 の情報を収集します。

5. 試料・情報の公開

本研究成果については学会、論文等で報告する予定です。学会や論文で発表する際は、個人が特定される情報は削除したうえで発表を行います。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用を行いません（利用を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

TEL：048-722-1111／FAX：048-722-1129

埼玉県立がんセンター 消化器内科 吉井貴子

研究責任者：

埼玉県立がんセンター 消化器内科 医長 吉井貴子

-----以上